



試験分析レポート

国際認定ラクテーション・コンサルタント®(IBCLC®)
資格試験

2017年4月実施

対象者:

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会®(IBLCE®)

作成者:

Lawrence J. Fabrey博士
心理測定学部門シニアバイスプレジデント

Lily Chuang理学修士
アソシエート・サイコメトリシャン

著作権 © 2017.ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会®(IBLCE®)。独占所有権。無断複写・転載を禁じます。
本書のいかなる部分も、電子的または機械的な手段を問わず、IBLCEからの書面による許可なく、複写、記録、情報検索システムを含め、いかなる形式または手段でも複製または転載することはできません。

www.psionline.com

試験分析レポート
ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会®(IBLCE®)
国際認定ラクテーション・コンサルタント®(IBCLC®)資格試験
2017年4月実施

概要

IBCLC資格試験の2017年4月の試験は、40カ国・地域の455カ所にて英語(イギリス英語)で実施されました。2017年4月は合計1,493人が受験しました。受験者は全員コンピュータベースの試験(CBT)を受けました。

試験の構造

IBCLC資格試験は、評議会が試験委員会メンバーと専門家委員会(RPE)とともに2014年に完了した実践分析から得られた詳細な試験概要に基づいています。この調査に基づき、評議会は、試験分野および年代順に従って試験内容を取りまとめました。詳細な試験概要は、IBLCEのウェブサイト(www.iblce.org)に掲載されています。

試験は単一の総合試験として採点されます。ただし、試験項目の形式は2種類の複数選択方式となっています。文章と画像による複数選択方式です。画像は通常、母乳育児の様子、または乳房の解剖学的構造もしくは病理を描写する写真を表示し、受験者はそれを分析しなければなりません。これらの試験項目は、臨床的な関連性が特に高くなっています。試験を構成する175項目のうち、85項目が画像を参照するものとなっています。

2017年4月の試験は、作業手順基準に従い、試験委員会が試験項目を作成、見直し、編集、選択のうえ試験が作成されました。委員会には、地理的および活動環境において広範囲にわたる各分野の専門家たちが含まれています。

受験者全員の得点データ($n = 1,493$)を用いて、試験後に予備的な項目分析が行われました。PSIサービス(PSI)の心理測定学スタッフは、試験委員会のメンバーとの予備的な項目分析の見直しを行い、問題の可能性のある項目(すなわち、わずかに不規則な統計や、受験者による不利な意見がある項目)の妥当性を確認しました。項目点数の適切な変更が、必要に応じて行われました。

試験点数

これらの統計値は、文字ベースと画像ベースの部分合わせたものに基づいており、初回受験者988人について計算されています。この統計は、2種類の試験ではなく、全体的な試験として表示されています。試験は1つの包括的で統合されたものとして作成されているためです。

初回受験者(988人)の素点の分布は、わずかに負の斜線となりました(図1参照)。初回受験者の175項目試験の点数の信頼性(KR20)は0.86、標準誤差(SEM)は4.92、合格点での条件付きSEMは5.50であり、単一の実施判断の一貫性指標の推定は0.90¹と0.92²でした。平均点数は137.36であり、標準偏差は13.15でした。

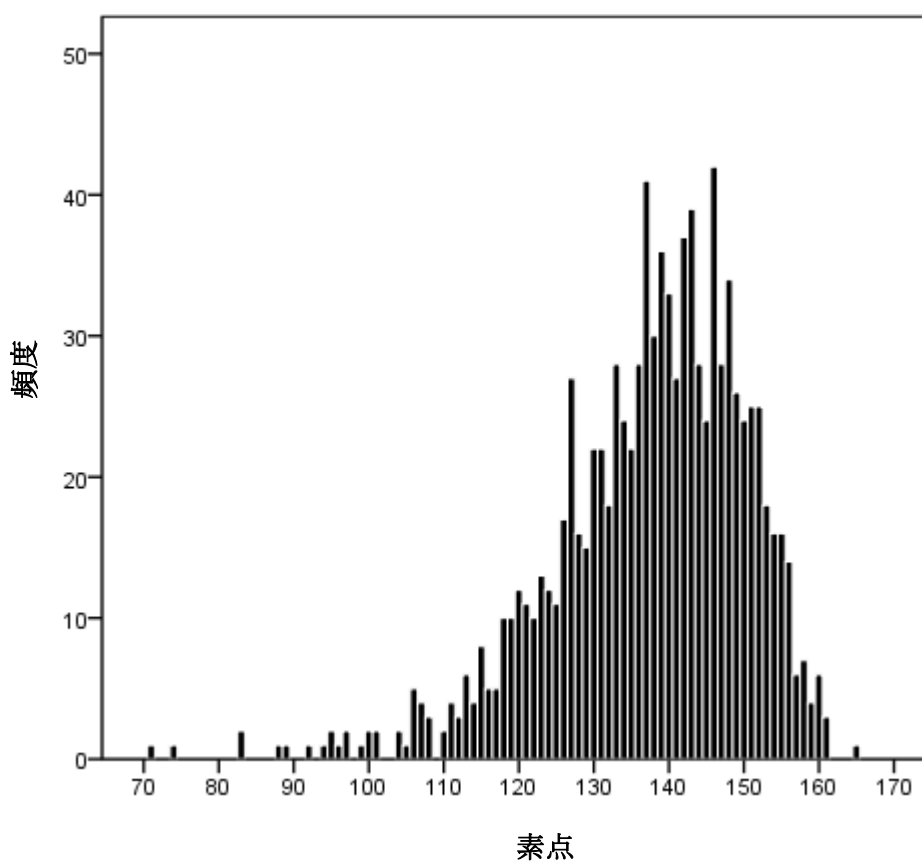


図1. 初回受験者の素点分布

¹Subkoviak, M. (1976). Estimating reliability from a single administration of a criterion-referenced test. *Journal of Educational Measurement*, 13(4), 7-10.

²Livingston, S. A., & Lewis, C. (1995). Estimating the consistency and accuracy of classifications based on test scores. *Journal of Educational Measurement*, 32, 179-197.

表1は全受験者の各試験分野の成績を示しています。受験者は、これら7つの主要試験分野の点数を受け取り、これらの点数をどのように解釈して、不合格の受験者は再度受験するか、合格した受験者は今後の専門的な成長にどう生かすかについて、ガイダンスを受けました。

表1.試験分野別受験者の成績概要
(n = 1,493、合格率% =83.92)

試験分野	項目数	平均
I. 成長と栄養	26	20.06
II. 生理学と内分泌学	24	18.60
III. 病理学	31	23.35
IV. 薬理学と毒物学	13	9.81
V. 心理学、社会学、人類学	21	16.73
VI. 技術	25	19.88
VII. 臨床の技術	35	29.11
合計	175	137.55

試験結果

試験全体にわたる難易度の違いを調整し、IBLCEによって事前に確立された最低限の適用基準を維持するために、確立された統計処理を行い試験の等化を実施しました。項目の点数を調整した後、2017年4月試験は、試験作成段階で確認された44の等化項目を使用して、2016年4月試験と同等とされました。IBLCEは、2017年4月試験の合格点を125点(175点中)として、最終的に承認し、採用しました。

試験の最終結果は、表2および表3にて、認定状況、志願条件別に平均と合格/不合格をそれぞれ表示しています。

表2.認定状況別平均点と合格/不合格の概要

認定状況	N	平均	合格率(%)
初回認定	988	137.36	85.02
5年目の再認定	8	145.50	100.00
10年目の再認定	179	144.97	96.09
15年目の再認定	21	141.81	95.24
20年目の再認定	88	147.72	100.00
25年目の再認定	5	150.20	100.00
30年目の再認定	6	151.17	100.00
再受験者	162	123.04	50.62
資格喪失者	36	137.72	88.89
合計	1,493	137.55	83.92

表3.志願条件別の平均点と合格/不合格の概要

志願条件	N	平均	合格率(%)
志願条件 1*	1,069	135.42	80.64
志願条件 2**	24	132.17	75.00
志願条件 3***	41	141.00	90.24

*志願条件 1:適切な環境での臨床時間を持つ保険医療専門家と非専門医療従事者

**志願条件 2:公認の学校/大学のプログラム

***志願条件 3:IBCLCのメンターシップによる臨床時間